



平成31年成人祭

1月14日、ルミエールホールで平成31年門真市成人祭が開催されました。門真市では1383人が成人を迎え、式典には925人が出席し、会場は鮮やかな晴れ着や真新しいスーツに身を包んだ新成人の笑顔であふれていました。

式典の冒頭では、成人祭プロジェクトメンバーが作成した小・中学校の先生からのビデオレターが上映され、懐かしい先生がスクリーンに登場するたびに歓声があがりました。また、宮本市長や来賓の方からのお祝いの言葉に、新成人たちは真剣な表情で気持ちを新たにしました。



感謝の気持ちを忘れずに

新成人の代表による「門出の言葉」では、「私たちの人生に寄り添っていただいた全ての方々に感謝し、恩返しができるよう社会に貢献していきたい」と述べました。

最後は全員で「旅立ちの日に」を斉唱し、これから始まる大人への第一歩を踏み出しました。



成人祭プロジェクトメンバー9人のうち3人に、成人を迎えるにあたり、インタビューに答えていただきました。

門真市の印象を聞くと、「門真市はにぎやかで明るいまちだと思う、みんな校区を超えて友達がたくさんいると感じます」と語ってくれました。

開催ポスターの作成や記念品の選定など打ち合わせを何度も重ね、前日の準備や当日の作業もみんな協力して頑張ってくれました。

成人祭プロジェクトメンバーに聞きました。 「どんな大人になりたい?」



にしぐち きょうか
西口 京花さん

(第七中学校出身)
春から美容師になるので、早く一人前に成長して親を安心させてあげたいです。
そして、お客さんからも憧れてもらえるような女性をめざします。



さなだ ゆい
眞田 優依さん

(第七中学校出身)
患者だけでなく、誰からも信頼される看護師になりたいです。
初めてお給料がもらえたら、親孝行のために使います。

こが かずひろ
古賀 和浩さん

(第三中学校出身)
門真市を良くしていくために行動できる大人になりたいです。
門真のためにできることを精一杯頑張ります。

